

# ソフトウェアライセンス管理方法の検討

真鍋 直也<sup>†</sup> 檜垣 泰彦<sup>††</sup>

<sup>†</sup> 千葉大学工学部都市環境システム学科    <sup>††</sup> 千葉大学大学院工学研究科

## 1. はじめに

ソフトウェアライセンス管理は企業や教育機関などの組織において重要視されてきた[1]が、近年より一層ソフトウェア使用に対する管理責任が高まっている。特に大規模組織では数多くのコンピュータ・ソフトウェアが利用されており、適正な利用であることを即時に説明可能であることが必要とされる。そこで本研究は、どのような管理体制が考えられ適合するのかを検討することを目的とし、さらにプロトタイプとしてハードウェア、ソフトウェアライセンス情報の適切な維持管理ができるシステムの試作を行った。

## 2. 要件

ハードウェア情報、ソフトウェア情報、及びライセンス情報などの情報資産を管理する組織にとって、その組織に適する管理方法を選択することは非常に重要であり、情報資産のライフサイクル管理を行う必要がある。

## 3. 管理方法

今回、ソフトウェアライセンス管理方法について検討するにあたり、4つの管理方法についてそれぞれ考察を行った。(1)特別なソフトウェアやWebシステムを構築することなく管理できる管理体制。例えば、ツールとしてExcelを用いてハードウェア管理台帳やソフトウェア管理台帳を作成する。(2)図1に示すよう

に各部課にサーバを設置し、Webシステムによってソフトウェアライセンスを管理する管理体制。(3)部課単位で設置していたサーバを一つにまとめて管理部門に設置する管理体制。(4)専用のソフトウェアを使用する管理体制。

## 4. プロトタイプシステムの試作

4つ管理方法のうち本研究では、Webによるソフトウェアライセンス管理システムの試作を行った。このシステムを構築するに当たり、実際に存在する組織として千葉大学を対象とした。システムの概要は、各ソフトウェア等を管理する教職員がWebシステムにログインし、各管理台帳情報の入力業務を行い、データ入力後サーバ上では、自動的にデータ管理が行われる。システムの機能としては、各管理台帳に対する関連情報の一覧、また各管理台帳で項目ごとにソート機能の実行を可能とし、データ入力・修正後Excelファイルとして出力可能とした。

## 5. 評価

Webを使用できる環境さえ整えれば、容易に各管理台帳データを作成することが可能で、整理されたデータを閲覧できる。

## 6. おわりに

今回、ソフトウェアライセンス管理方法の考察を行い、それぞれに利点と問題点を検討することができた。また、適合性の高い管理体制についてプロトタイプのシステムを試作し、その効果の検証を行った。ソフトウェアライセンスを管理するという事は、組織内の情報資産を維持管理することだけでなく、コンプライアンスの向上、さらに全てのソフトウェアライセンスの使用状況を把握できることから、包括ライセンス契約の検討にも利用できる。

## 参考文献

[1] 上田浩, 他, 群馬大学におけるソフトウェアライセンス適正管理への取り組み, 情報教育研究会講演論文集, 平成21年度, D2-5(2009.11)

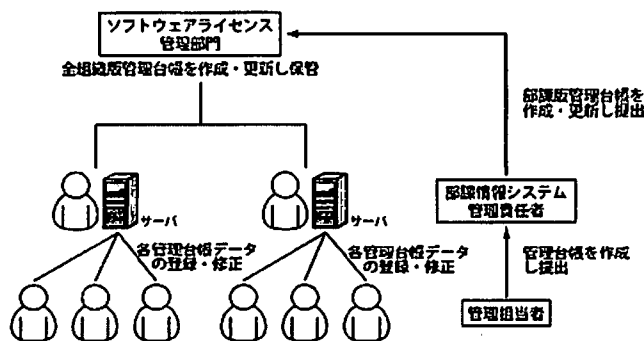


図1: 部課ごとにサーバを用いた管理体制